

平成26年度 第9回教育研究評議会議事録

日時 平成27年1月21日(水) 14:30～16:30
場所 事務局大会議室、附属図書館分館・学生支援棟3階会議室
出席者 伊東、石井、碓氷、浅利、前田、柳澤、東郷、中野、鈴木、今野、
寺村、平岡、梅澤、谷、菅野、酒井、小西、藤井、塩尻、加藤、青山、
佐古、星野、中山、糠谷、河合、鳥山、永津、中村、三村、朴、高松
の各評議員
欠席者 木村、渡邊の各委員
陪席者 鈴木、櫻本の各監事
佐藤、杉山の各学長補佐

I 議事録の承認について

平成26年度第8回教育研究評議会議事録(案)を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 第三期中期目標・中期計画の素案(案)の策定について

議長から、第三期中期目標及び中期計画の素案(案)について提案があり、浅利委員から、同案の作成にあたり、分野別のミッションの再定義で示された強み、特色や社会的役割を意識したこと、同目標・計画の確定までのスケジュール等について、資料1により説明があった。

続いて、議長から、本件については、今回提示した案を各部局で持ち帰っていただき、2月4日に開催する企画戦略会議から実質的な審議を進めていきたい旨の説明があり、併せて、各部局においては、同案に対し、積極的な意見をいただきたい旨の依頼があった。

2 中期目標・中期計画の変更について

議長から、第二期中期目標及び中期計画の変更について提案があり、東郷委員から、変更理由等について、資料2により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

3 静岡大学大学院規則の一部改正について

議長から、平成27年4月の大学院総合科学技術研究科の設置等に伴う静岡大学大学院規則の一部改正について提案があり、石井委員から、資料3により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

4 静岡大学学位規程の一部改正について

議長から、平成27年4月の大学院総合科学技術研究科の設置等に伴う静岡大学学位規程の一部改正について提案があり、石井委員から、資料4

により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

5 静岡大学大学院総合科学技術研究科規則の制定について

議長から、平成27年4月の大学院総合科学技術研究科の設置に伴う静岡大学大学院総合科学技術研究科規則の制定について提案があり、石井委員から、規則の概要について資料5により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

6 国立大学法人静岡大学危機管理規則の制定について

議長から、本学の危機管理体制における基本となる事項を包括的に定めるための国立大学法人静岡大学危機管理規則の制定について提案があり、柳澤委員から、規則の概要について資料6により説明があった。

審議の結果、委員から、危機への対処に係る条項中、学長の裁量の範囲について意見があり、委員からの意見を反映した形で修正を行うこととし、これを承認した。

7 女性教員に係るメンター制度実施要項の一部改正について

議長から、メンター制度の対象を拡大するための女性教員に係るメンター制度実施要項の一部改正について提案があり、中野委員から、資料7により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、メンターの必要性に関しては、ワーク・ライフ・バランスの観点以外もあるものと思われるが、今回の改正では、同観点から、メンター制度を新規採用される男性教員に対象を広げることとした旨の説明があった。

また、議長から、本要項の趣旨は、あくまで男女共同参画に係るものであり、その枠組みを超える場合は、そぐわしい体制による対応を要する旨の発言があった。

Ⅲ 報告事項

1 企画戦略会議報告

議長から、第9回企画戦略会議（H27.1.7開催）について、資料8により報告があった。

2 農学部・農学研究科と天津農学院（中華人民共和国）との部局間交流協定の締結について

鈴木委員から、農学部・農学研究科が、天津農学院と部局間交流協定を締結した旨、資料9により報告があった。

3 電子工学研究所とカウナス工科大学（リトアニア共和国）との部局間交流協定の締結について

鈴木委員から、電子工学研究所が、カウナス工科大学と部局間交流協定

を締結した旨、資料10により報告があった。

なお、議長から、同協定の締結に際して、学生交流に関する覚書を締結しているが、これについては、今後、同校とは、大学間協定及びDDPの締結を予定しているためである旨の説明があった。

4 平成27年3月卒業・修了予定者の進路状況について

中野委員から、平成27年3月卒業・修了予定者の平成26年12月末現在での進路状況について、全国や地域別の就職内定率を踏まえ、資料11により報告があった。

5 機関別認証評価について

東郷委員から、平成27年度機関別認証評価に係る自己評価書について、評価会議において原案を策定した旨、資料12により報告があり、併せて、各部局において精査願いたい旨の依頼があった。

6 静岡大学大学院総合科学技術研究科長の選考について

議長から、平成27年4月に設置する大学院総合科学技術研究科の研究科長について、総合科学技術研究科設置準備委員会から推薦された4名の候補者の中から、各専攻の規模等を考慮した結果、佐古現工学研究科長を初代の総合科学技術研究科長に任命した旨の報告があった。

7 次期附属図書館長候補者の選定結果について

議長から、平成27年3月31日付けで任期満了となる附属図書館長の次期候補者について、各部局から推薦された方に、当面の重要な課題である電子ジャーナルや、その他図書館業務に係る所見について書面で質問し、選定を行った結果、澤田均農学研究科教授を次期附属図書館長候補者として選定した旨の報告があった。

なお、引き続き、浜松分館長の選定を行うため、城北キャンパスの部局から、適任者を推薦願いたい旨の依頼があった。

8 平成27年度国立大学関係予算（案）について

前田委員から、平成27年度の国立大学関係予算（案）の概要及び本学の予算予定額の概要について、資料13により報告があり、国立大学関係予算で新たに組み込まれた事業や、一般運営費交付金対象事業費の中に、「学長裁量経費」が予算積算上、新たに区分されたこと等について説明があり、併せて、国立大学全体及び本学が置かれた厳しい財政状況について、説明があった。

なお、委員から、その他新規事業の有無について質問があり、前田委員から、今後、全容がわかり次第、情報提供を行いたい旨の説明があった。

9 国立大学法人等におけるクラウドコンピューティングの導入について

企画部長から、国立大学法人等におけるクラウドコンピューティングの

導入について、資料14により報告があり、本学が学術情報ネットワーク（SINET）を活用した中規模大学の事例として紹介された旨の説明があった。

また、同部長から、SINETについては、平成28年度にSINET4からSINET5への移行が計画されており、その移行経費は、平成27年度国立大学関係予算に計上されていることから、同移行に係る検討の必要性について、併せて説明があった。

10 教員採用等報告について

議長から、人文社会科学部3名、教育学部1名、大学院情報学研究科1名、大学院工学研究科1名及び大学院農学研究科1名の教員の採用等について、資料15により報告があった。

なお、梅澤委員から、教育学部の採用人事について、平成28年4月に設置する養護教育専攻に必要な医師免許を有する教員として、公募以外による採用人事を行った旨の説明があった。

IV その他

1 平成27年度入学式について

議長から、平成27年度から、入学式において、「社会で活躍する卒業生・修了生」の講演を行うこととした旨の説明があり、平成27年度の入学式の講演については、人文学部の卒業生であるジョンソンアンドジョンソン株式会社の日色社長に講演をお願いし、承諾頂いた旨の報告があった。

なお、議長から、平成28年度以降の講演者については、早期にお願いする必要があるため、講演者の推薦について、各部局へ依頼があった。

2 地方創生人材支援制度について

総務部長から、地方創生人材支援制度に関する地方公共団体からの派遣要望が揃ったことに伴い、大学教員の募集に係る周知について、資料16により説明があった。

- 石井委員から、1月17、18日に行われた大学入試センター試験について、無事修了した旨の報告があり、関係各位への謝辞があった。

以上